

令和6年度 学校経営方針

中野区立みなみの小学校

校長 林 禎久

人権尊重の精神を基盤とし、社会構造や生活様式が急速に変化する「予測困難な時代」をたくましく生き、持続可能な社会の実現に向けて、多様性を理解・尊重し、自ら課題を解決する力や豊かな人間性、社会性の基礎を培う。

学校の教育目標

- かしこい子
- やさしい子
- げんきな子

の達成を目指し、小さなトライを積み重ねる

めざす児童像

- ・進んであいさつや返事ができる子
- ・目標をもち、伸びようと努力する子
- ・自他のよさを認め、自分も友達も大切にできる子
- ・感謝の念をもち、自分にできることで返していく子

めざす学校

- ① みんな
- ② なかよく
- ③ みらいに向かって
- ④ のびゆく学校

めざす教師像

- ・子ども一人ひとりを大切にし、温かく熱意ある指導をする教師
- ・日々向上心をもち、子どもが主語となる授業を実現する教師
- ・子どもの成長を喜び、教師としての職務にやりがいと誇りをもつ教師
- ・子ども一人ひとりの学びを引き出す教師

- 子どもたちの笑顔と喜びがあふれ、活力ある誇れる学校
 - ・・・「わかる・できる喜び」「認められる喜び」「成長する喜び」が味わえる学校
- 保護者・地域の方々が信頼をよせ、誇れる安心・安全な学校
 - ・・・学校管理が徹底され、いじめや不登校、体罰、服務事故が0となる学校
- 教職員が誇りをもって生き生きと働く学校
 - ・・・子供の成長とともに喜び、切磋琢磨し合える集団が協働する学校

みなみの小の教育活動を推進する視点

- ・少子高齢化の進行、グローバル化の進展や絶え間ない技術革新等による予測困難な時代をたくましく生き抜き、多様性を尊重し共生社会のつくり手となり、持続可能な社会の担い手となる子どもたちを育てる。
- ・だれ1人取り残すことなく子どもたちの可能性を引き出す、個別最適な学びと協働的な学びを実現する
- ・子どもが主語となる教育活動の充実を図る（子ども一人ひとりの問題解決の力を高める）
- ・3年にわたって世界規模で流行した新型コロナウイルス感染症の経験を忘れず、子ども一人ひとりの安心と安全を大切にする

かしこい子

問題解決能力の育成

やさしい子

人権教育の充実

げんきな子

健康教育の充実

かしこい子

一 子ども主体の教育活動を展開し、学びの基礎・基本と問題解決能力の定着を図る 一

- ①「個別最適な学びと「協働的な学び」の充実
- ②タブレットの学習アプリの活用、習熟度別指導、補充教室、みなみの診断テストによる基礎・基本の習得
- ③学習指導要領の目標、内容等を基盤とした指導の充実（問題解決能力の定着）
- ④ICT活用の基礎となるキーボード入力スキルの向上
- ⑤高学年での一部教科担任制による学習の充実
- ⑥家庭・地域等と連携した教育の推進
- ⑦読書目標の設定（下学年：月7冊、上学年：月300ページ）
- ⑧保幼小中連携教育の充実、南中野中校区コミュニティスクールの発足
- ⑨理科教育の充実
- ⑩家庭学習週間の設定(7、12月)と家庭学習の手引きの配布による学習習慣の向上

やさしい子

一 自他のよさを認め、自分も友達も大切にし、思いやりあふれる心の醸成を図る 一

- ①子どもにとっての居場所となる学年・学級づくり
- ②ロング昼休みを活用した縦割り班活動、学年・学級の時間の充実
- ③特別支援学級と通常の学級の交流、共同学習の充実
- ③ 校内委員会を核とした特別支援教育の推進
- ④ 幼稚園、保育園、高齢者施設との交流、障がい者や異文化の理解による心のバリアフリーの構築
- ⑥SNS学校ルールに関わる指導、家庭と連携した情報モラル教育の充実
- ⑦いじめアンケートの実施、いじめ対策委員会の開催による未然防止と早期発見・早期対応
- ⑧生命尊重教育の充実、認め褒める指導による自他を大切にする心の涵養
- ⑨自己肯定感、自尊感情の醸成

げんきな子

一 子ども一人ひとりの安心と安全を大切にし、健全な心と体の育成を図る 一

- ①長なわ、短なわ、持久走の全校での取組等、体育的活動の充実
- ②体力テストで明らかになった課題解決に向けた、体力向上の目標と取組方法の設定
- ③家庭と連携した「早寝 早起き 朝ごはん」「1日60分・週5日の運動習慣」の推進
- ④運動の質と量、判断、かかわりを大切にした体育学習の充実
- ⑤健康づくり教室、保健指導、保健にかかわる学習、学校保健委員会による健康指導の充実
- ⑥感染症についての知識を習得し、自ら予防と感染拡大の防止に努める態度の醸成
- ⑦地産地消の関心を高めるとともに、日々の食の大切さの理解を高める食育の重実

その他

「子どもたちの範となり、指導する存在である」の自覚をもって教職員としての言動に留意して職責を果たすために、管理職や教職員間の報告・連絡・相談を密にしてトラブルを未然に防ぐことを大切に、早期解決できる組織を構築して質の高い教育活動を実現するとともに、サービス事故防止の徹底を図る。